


Contents

10月はPSA(前立腺がん)検診の受診月です／① 医'sアシスト・ウィズ
ウェルネスのご案内／②③ 細菌検査統計報告、ちょっとひと言／④

PSA(前立腺がん)検診のご案内

PSA

10月はPSA(前立腺がん) 検診の受診月です

1. 対象者：福岡市民の方(男性、年度内55歳以上)で職域等で受診する機会のない方
2. 受診者負担金：1,000円
※下記の方は、負担金が免除(無料)になります。
①満70歳以上の方 ②市民税非課税世帯の方
③生活保護受給世帯の方 等
3. 依頼方法：本検査センター依頼書(特定健診問診表申込書兼問診表は )のフリー欄に項目コード「201」とご記入ください。
また、性別、年齢(生年月日でも可)のご記入も併せてお願い致します。

登録方法

PSA(前立腺がん)検診実施医療機関の
事前登録が必要となります。

詳細につきましては、福岡市医師会医務課
Tel 852-1504 にお問い合わせ
のうえ登録をよろしくお願い致します。

登録は申込書
1枚でOK!



今秋導入予定の新しいソリューションをご紹介します。

「業務効率化」と「患者さんとのつながり」をアシストする



医療機関で導入するソフト(有償)

患者さんがスマホ・タブレット等で使用する
医'sアシストと連携する健康管理アプリ(無料)

医'sアシストは予約・受付管理からオンライン問診票、診察支援などクリニックのあらゆる業務を効率化するためのクリニック向けDXサービスです。

現場医師監修のもと診療に関わる医師・受付・患者さん全員の体験価値を高めるためのサービス設計が施されており業務効率改善だけでなく患者さんの予防医療にもつながることを目指しサービスの開発・提供を行っています。

また、ウィズウェルネス(健康管理アプリ)を通じて診察結果や検査結果など各種データを連携することで患者さんとクリニックをつなぐ新しい医療コミュニケーションを実現します。

連携利用でつながり・業務効率化と再診率のアップ

クリニック 医'sアシスト 業務支援 & 患者定着化ソリューション

患者さん ウィズウェルネス 健康管理アプリ (無料)

医療と患者さんがつながる世界観を実現

クリニック 患者さん

H.U.GROUP

「医'sアシスト」は「業務効率化」と「患者さんとのつながり」をいつまでも継続させるスマートサイクル

H.U.GROUP

一体化させて実現できる体験価値

タッチポイント(顧客接点)増加

H.U.GROUP

お問い合わせにつきましては、営業担当に連絡下さい。また、機能も豊富にございますので、ぜひホームページもご参照下さい。

ホームページアドレス <https://pr.e-s-assist.com/>

●医療情報ネットワークシステム「Dr.web」と 電子カルテとの依頼・結果連携実績

Dr.web(オンライン) 連携・電子媒体連携実績

1	大新技研株式会社	11	株式会社メディブレイン
2	エムスリーデジタル株式会社	12	メディカルアイ株式会社
3	エムスリーソリューションズ株式会社	13	株式会社パシフィックメディカル
4	島津メディカルシステムズ株式会社	14	株式会社メドレー
5	株式会社湯山製作所	15	NTTエレクトロニクステクノ株式会社
6	株式会社エムアイユー	16	セコム医療システム株式会社
7	株式会社EMシステムズ	17	株式会社システムクレオ
8	株式会社アイソル	18	ウィーメックス株式会社(旧PHCメディコム)
9	株式会社ファインデックス		
10	株式会社ダイナミクス		

電子媒体連携のみ

1	株式会社レスコ
2	株式会社ファルコバイオシステムズ
3	富士通株式会社
4	アイネットシステムズ株式会社

※上記メーカーでも機種によっては未対応の事がありますので、詳しくは営業担当までご連絡ください。

※企業名は順不同

現在、22社の電子カルテメーカーと連携実績がございますので、Dr.webを導入しているが連携未実施、電子カルテは導入しているがDr.web未導入の先生方につきましては、業務効率化のお役に立てるかと思えます。

また、電子カルテ未導入でもDr.web単独で検査結果の閲覧等可能です。

Dr.webのお問い合わせは、営業担当にお声かけ下さい。

また、福岡市医師会臨床検査センターホームページ内の
<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>
 「えんしんぶんり」Vol.115でもご紹介しておりますので、ぜひご参照下さい。

細菌検査統計報告

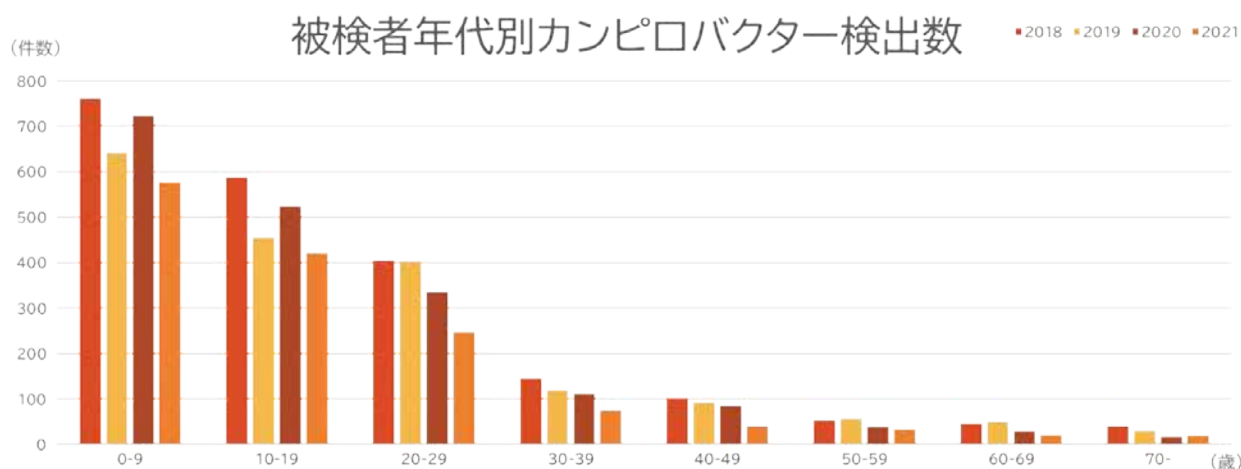
(コロナ禍でのカンピロバクター検出状況②)

当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況を一部取り上げてご報告いたします。その他の検査材料の細菌検出状況、薬剤感受性情報、薬剤耐性菌検出状況、腸管病原菌検出状況は、当検査センターホームページに掲載しています。

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

カンピロバクターは腸管病原菌の中で最も多く検出されている菌であり、COVID-19の影響により、福岡市近郊におけるカンピロバクターの検出状況に影響はあったのか調査を行いました。2022年11月に「第92回日本感染症学会西日本地方学術集会」にて発表を行ったので一部報告します。

調査対象は2018年1月～2022年4月に便検体より検出されたカンピロバクターとし、月毎及び被検者年代別に集計し、2020年を境にコロナ禍前後、および新型コロナウイルス感染症の発生状況の変動とカンピロバクター検出状況との関連を調査しました。



年代別では、いずれの年でも10歳未満が最も多く、COVID-19は2020年初頭から流行しており、2020年のカンピロバクター検出数は20歳代以上で減少していたが、20歳未満では前年と比較し増加していました。2021年ではすべての年代で減少していました。

またコロナ禍においても、2020年のカンピロバクター検出数は20歳未満では前年と比較し増加していたことから小児ではテイクアウト等含む家庭内での食事からの感染も示唆される結果となりました。

ちょっとひと言

ラグビーの魅力

ラグビーは、15人制で、15人全員で守って、15人全員で攻める競技です。足が速い人も遅い人も、身体が大きい人も小さい人も関係なく、全員で守り、全員で攻めます。また、鍛え抜かれた選手達による迫力のあるタックルやトライが魅力のスポーツで、迫力とスピード感を一度に体感できるスポーツです。

ラグビーは、すごく自由なスポーツで手も足も使ってOK、ボールを持って走ってもOK、人に体当たりしてもOK、タックルで倒してもOK、あらゆる人気競技が凝縮されたスポーツといっても過言ではないほど自由で制限の少ないスポーツです。ルールが解らなくても、迫力とスピード感だけで大興奮できると思います。

チームに身体が大きい選手もいれば、そうでない選手もいる。だからといって、身体が大きい選手ばかりが活躍するとも限らず、体格に見合ったポジションがあり、身体に適したポジションで選手の長所も活かせることも十分可能です。

今年は、4年に1度のラグビーW杯がフランスで開催されます。楽しみで仕方ありません。

営業課 北島 史隆

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1510

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

編集委員 田川 恭平 東田 和子 杉本 清美 田中 進一 高下 誠司 井手 明宏